2017年4月～5月実施
食物アレルギーへの緊急時対応
体験型出前セミナー

2017年4月～5月にかけて、「食物アレルギーへの緊急時対応 体験型出前セミナー」が実施されました。宮城県立こども病院の北沢博医師と鈴木千鶴看護師を講師に招き、小学校8校・幼稚園1施設・保育園1施設の計10の教育機関で開催し、計310名の教職員の方が参加されました。新年度のスタートの時期ということもあり、小学校からの開催申込みを大変多くいただきました。

食物アレルギーへの緊急時対応について、アレルギーを専門とした指導者から講習を受けたいといった声がありました。また、参加者からはエピペン®を打つタイミングの判断に若干の不安があったり、職員間での役割分担を再確認したいといった要望が多数寄せられました。

緊急時対応マニュアルに沿って迅速な判断が求められることを確認し、エピペン®の使用方法を参加者一人一人が体験し、大変学びの多い講習内容となりました。

講習後は、「エピペン®を打つタイミング（判断）の重要性を再認識した」「慌てないこと、チームで対応することが特に大切だと感じた。学校としての対応マニュアルを確認していきたいと思う」「定期的な講習の必要性を改めて感じた」といった感想が多くあり、この学びをより多くの教育機関に広めていきたいと強く感じました。

4月6日（柳生小学校）

4月6日（荒町小学校）

4月7日（市名坂小学校）

4月7日（四郎丸小学校）

4月7日（八幡小学校）

4月20日（錦ヶ丘小学校）

4月27日（高森小学校）

5月2日（上杉山通小学校）

5月20日（明泉幼稚園）

5月24日（若林どろんこ保育園）